

中世の松浦 (81) 鷹島海底遺跡

10月6日(火)から11月23日(月・祝)まで福岡県糸島市の糸島市立伊都国歴史博物館において「玄界灘の波濤を越えて〜海が結ぶ人と文化〜」秋季特別展が開催されています。

この特別展では、糸島市潤地頭給遺跡で平成16年に発見された井戸杵が弥生時代終末期(3世紀中ごろ)の準構造船を解体し、転用されたと考えられることから、船の建造法の変遷(剝船↓準構造船↓構造船)と玄界灘一帯で起こった歴史的事件の中に出てくる船などが展示してあります。併せて、これらの船によって時代ごとにさまざまな形で海を越えて運ばれた貴重な資料を通して、海に生きた人びとやその交流の足跡をたどることができる展示内容となっています。

展示品には、縄文時代から弥生時代の唐津市徳蔵谷遺跡と唐津市菜畑遺跡出土の釣針、弥生時代の糸島市潤地頭給遺跡出土の準構造船の部材、福岡市博物館所蔵の遣唐使船の模型、福岡市立少年科学文化会館所蔵の遣明船と千石船の模型など約200点があります。

松浦市からも鷹島神崎遺跡出土の「てつはう」・青玉製雌雄鹿像・碓石・鉄製冑など館外初の展示を含む42点と「鷹島1号沈没船」・「鷹島2号沈没船」のデータを貸出して、います。

この特別展に関しては、伊都国歴史博物館(糸島市井原16)までお問合せください。☎092・322・7083

なお、会期中の11月1日(日)には琉球大学法文学部教授池田榮史氏が「元寇を考古する〜鷹島神崎遺跡の発掘調査から〜」と題して講演されます。



▲ 青玉製雌雄鹿像 (展示品の一つ)

あなたの健康お手伝いします



いきいき松浦21(第2次)の紹介 ~喫煙について~

健康分野ごとに市民の皆さまに実践していただきたいことをシリーズで紹介しています。

問合せ先=健康ほけん課健康推進係
☎内線129、166

松浦市民健康づくり10の心得
6つめ「禁煙に取り組む」

Q. なぜ「禁煙に取り組む」のでしょうか?

A. 松浦市の喫煙状況をみると、20~39歳で13.3%、40~64歳で14.0%、65歳以上で8.5%の人が喫煙しています。喫煙とがん発症の関連はよく知られており、松浦市はがんで亡くなる人が県平均よりも多い状況にあります。また、喫煙はがんの発症率が高いだけでなく、心疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、歯周疾患などにもかかりやすくなります。

女性の喫煙状況をみると、20~39歳の若年女性で10.1%と高い喫煙状況にあります。自分自身の体への影響だけでなく、妊娠中の喫煙によって早産や低体重児の出生にも大きく関係しますので、禁煙が望ましいとされています。



Q. 具体的にはどんなことに取り組めばいいのですか?

A. 松浦市の健康づくり対策として、禁煙の推進とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の早期発見に取り組んでまいります。市民の皆さまは、以下のことを心がけてください。

- ・禁煙に取り組む
- ・禁煙の決断をしたら周りに宣言する
- ・たばこの代わりになるものを見つける
- ・禁煙中の人に対しては激励する
- ・喫煙中の妊産婦は禁煙する
- ・未成年者はたばこを吸わない 見つけたら注意する
- ・子どもの周りでたばこを吸わない 吸わせない
- ・歩きたばこをやめる
- ・がん検診、COPD 検診を年1回受ける

A Small School with a Big Heart —大きな心の小さな学校—



ブレンダン・ピアス
Brendan Pierce
アメリカ出身

私は、毎週金曜日にフェリーで青島小中学校を訪問します。小学生が9人と中学生が3人の学校で、家族のように感じるとても小さな学校ですが、児童、生徒たちはとても大きな心を持っていて、誰にでも親切で友好的です。児童、生徒たちだけではなく、島の人々はとても仲むつまじく、この島で教えることができるととても幸せです。

青島の人々の心の大きさを感じた一番の時は、9月に開催された青島小中学校の運動会です。今年は小中学校の創立140周年を祝いました。全校生徒が12人しかいないので、保護者、教師それから青島の住民の皆さんも運動会に参加し、子どもたちのために運動会を盛り上げました。私は、島の大人たちがあいさつ、行進、徒競走、ダンスにも参加し、子どもたちと一緒に運動会を楽しんだことはうれしい驚きでした。大人が生徒に戻り、生徒が12人しかいない学校が100人いるような感じがしました。

小さい学校のため、子どもたち一人一人にゆっくり教えることができる環境です。私も子どもたち一人一人を理解し、教

ることができ、子どもたちも私にたくさん話しかけてくれます。しかし、私は毎日違う学校を訪問するので、すべての学校の子どもたち一人一人を知るには時間がかかります。青島の皆さんにはとても感謝しています。これからも毎週金曜日に青島小中学校を訪問し、英語を教えることが楽しみです。

皆さん、ありがとうございます。すばらしい日々をお過ごしください。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『超一流の雑談力』
安田 正 / 著 文響社

一流の雑談は、人もお金も引き寄せる！「ソフトに見つめてテンポよくあいづち」「会話が終わったらすぐにメモを取る」など、雑談力を高めるための38の実践的なテクニックと、日常の中でのトレーニング方法を紹介します。



『だっておさるだもん』
サトシン / 作 中谷靖彦 / 絵 小学館

お仕事が大好きなおさるくん。だけど、がんばりすぎて、しっぱいもたくさん！そんなおさるくんが、おすしやさん、ラーメンやさん、ピザやさんなど、料理をつくるお仕事で大かつやくする絵本です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



志佐町里免の大浦悠河くん (10歳) と
桃佳ちゃん (6歳)

【お気に入りの本】

『マジック・ツリーハウス』シリーズ

メアリー・ポープ・オズボーン / 著 メディアファクトリー

『しゅくだい』 宗正美子 / 原案 いもとようこ / 文・絵 岩崎書店

【お母さんからひとこと】

図書館は、悠河が赤ちゃんのころから利用させていただいています。今でも桃佳のためにはおはなしの部屋や絵本のコーナーで本を選んで読んであげています。最近では休みの日は二人でよく図書館に出掛けていきます。お目当ての本や思い思いの本を自分で探し借りてきたり、図書館になかった本は予約やリクエストをして、届くのを楽しみにしながら読んでいます。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています！